

「社長」や「役員」になりすました詐欺メールにご注意ください

企業の「社長」や「役員」になりすました詐欺メールを送信し、従業員や取引先に「お金を振り込ませる」「SNS のグループを作成させる」「機密情報を送らせる」などの指示を行う詐欺（いわゆる CEO 詐欺）が全国で確認されています。不審なメールを受け取った場合は、開封したり返信したりせず、送信元が正しいか必ずご確認ください。

1. 詐欺メールに使われる手口

- ・ 経営者や上司になりすまし、「急ぎで対応してほしい」と振込や情報提供を求める。
- ・ 本物に似たメールアドレスを悪用して、正規の連絡に見せかける。
- ・ LINE グループの作成など、外部サービスへの誘導を行う。

【事例①（振込を指示する詐欺）】

件名：至急振込してください 差出人：社長を装った偽アドレス

内容例：

商談に必要なため、至急振込をお願いします。

手続きは後回しで構いません。戻ったら説明します。

振込先：〇〇株式会社 金額：〇〇, 000, 000 円

⇒ 「至急」「会社に戻ったら説明する」などは、詐欺メールでよく使われる言い回しです。

【事例②（LINE グループ作成を依頼する詐欺）】

件名：社名を記載した偽メール 差出人：社長を装った偽アカウント

内容例：

お疲れ様です。業務利用のため、新しいLINE グループを作成してください。

完了したら招待 QR コードを返信願います。

代表取締役社長 〇〇

⇒ 会社では通常使用しない外部 SNS への誘導は、要注意ポイントです。

2. 不審なメールを受け取った場合

- ・ 差出人のメールアドレスを必ず確認する。
- ・ 内容に不自然な点があれば、正当な相手（自社の社長等）に直接電話で確認する。
- ・ リンクを開かない、添付ファイルをダウンロードしない。
- ・ 個人情報を送らない。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部

電話番号：025-243-0171

営業時間：9:00～17:00（ただし休業日を除きます）